

# 水稻早生新奨励品種 きぬむすめ 栽培暦 (平坦地 6月上旬植用)

大阪府環境農林水産総合研究所

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上		
生育ステージ				は出	緑	硬	田	活	分			最	幼	穂	出	穂	登			成				
				種芽	化	化	植	着	げ			高	穂	ば	穂	揃	熟			熟				
シ				期	期	期	期	期	つ			分	形	ら	期	期	期			期				
				育			苗	活	着	有効分げつ			無効分げつ			幼穂形成穂ばらみ			登			熟		
水管理				入水代かき			やや浅水			中干し			間断かんがい			湛水			間断かんがい			落水		
施肥				土			基				穂			穂						土				
除草剤							初																	
病虫害防除				箱			葉			穂			カ			ウ								

「きぬむすめ」は「ヒノヒカリ」以上の耐倒伏性を持つが、「祭り晴」よりは明らかに倒伏しやすいので特に基肥量の規定を守ること。基肥窒素は10aあたり5～6kg以内とする。穂肥は10aあたり窒素3～4kg以内とし、出穂21日前～10日前にできれば2回に分けて施用する。基肥と穂肥トータルで10aあたり窒素8～10kg以内とする。いもち病耐性も「祭り晴」ほどは強くないので、特に中山間では箱施用剤および本田防除を励行すること。「祭り晴」と違って籾の休眠は浅いので発芽が早く、苗の伸びも「キヌヒカリ」並に早いので育苗時の高温による徒長苗に注意する。出芽器から出すのは祭り晴より1日早めに。刈り遅れのないように適期収穫すること。(穂の籾のうち根元の2割程度がまだ帯緑した時期が適期。出穂からおおむね45日くらい)